

# こんなところが蚊の発生源

## ◇ (身近に発生するヒトスジシマカ) ◇



保健所には蚊に関する駆除相談が多く寄せられますが、なかでも特に多いのがヒトスジシマカ（通称ヤブカ：地域によってはシマガ）です。

ヒトスジシマカは、水路、側溝よりも身近にあるわずかな「溜まり水」から発生し、朝や夕方に活動します。

広範囲に飛び立った成虫を駆除するよりも、幼虫（ボウフラ）のいる「溜まり水」をなくす対策を防除の基本としましょう。

**\*蚊は水が無ければ絶対に発生しません！！**

## 蚊は様々な感染症を媒介します

蚊は、日本脳炎、マラリア、デング熱、ジカウイルス感染症等を媒介することができます。

不快害虫としての面が強い蚊類ですが、海外旅行や外国人旅行客の増加など人や物の活発な移動に伴い、感染症を媒介する衛生害虫としての再認識が必要です。

私たちの住む地域から感染者をださないためにも、日頃から蚊を発生させない、蚊に刺されない対策を心掛けましょう。

- \* 蚊媒介感染症に関しては、日本脳炎・黄熱を除いて有効なワクチンは存在せず、予防には蚊に刺されないようにすること（長袖・長ズボンの着用、有効性が証明されている忌避剤の使用、肌の露出を避ける）が効果的です。
- \* デング熱、ジカウイルス感染症を媒介できる蚊は、ネッタイシマカとヒトスジシマカですが、ネッタイシマカは日本国内に定着していません。
- \* 日本脳炎はコガタアカイエカ、マラリアはハマダラカが媒介します。

## ヒトスジシマカとは？

- ◎ 全体が黒く、背中に一本の筋があるのが名前の由来とされています。
- ◎ 普段は木陰などに潜み、ヒトや動物等が出す二酸化炭素を感知し、素早く吸血します。
- ◎ 行動範囲は狭いといわれています。

## ヒトスジシマカの一生は？

さなぎの期間 1～2日

幼虫の期間 6～7日  
(脱皮を4回繰り返して成長する)

成虫の寿命は30日ほど。  
(メスは3～4回ほど産卵する)

卵の期間 1～2日  
(1回で200個くらい産むこともある)

### ワンポイント

蚊は産卵に必要な栄養を蓄えるため、**メス**だけが吸血します。オスは花の蜜、樹液等を吸って栄養源としています。

## ヒトスジシマカの発生源と防除対策

一般家庭に多く見られる発生源です。整理整頓、廃棄処分、修理、修繕等を行うことで溜り水をなくしましょう。

古タイヤ



古いバケツ



コンクリートブロックの穴



## 溜まり水をなくせないときは…



(左から3g、1g、0.5gの大きさになります)

どうしても空けることができない溜まり水（雨水枥）等、やむを得ず薬剤を使用する場合は、投入するだけの簡単な殺虫剤（錠剤：左の写真を参考）が各メーカーから販売されています。

◎幼虫（ボウフラ）の脱皮を阻害し、成虫にさせない薬剤です。

◎ヒト、動物、魚類に対し安全性に優れています。

◎必要量を水域に投入するだけで約1ヶ月間、蚊の発生を抑えることができます。

◎投入場所、水量、その他状況に応じた薬剤が販売されています。

\*「新潟市衛生害虫駆除用薬剤購入費補助金」自治会・町内会・連合自治会等で購入する、衛生害虫駆除用薬剤の購入費に対し、補助金制度があります。

## 成虫対策について

- 1) 網戸等で蚊の侵入を防ぐ
- 2) 雑草などは定期的に刈り取り、蚊の潜み場所をなくす
- 3) 長袖長ズボン等の服装で蚊に血を吸わせない（刺されない）

◎忌避剤を使用の際は、有効性が認められている「ディート（DEET）」や「イカリジン（ピカリジン）」等を使用上の注意を守り使いましょう。

\*このチラシは、一般家庭周辺で見られるヤブカ類の発生源とその防除対策を知って頂くために作成しました。  
\*より詳しい情報は右下の二次元コードを読み取ってください。蚊以外にも色々な害虫等の情報が掲載されています。

## ねずみ・衛生害虫に関する駆除相談は下記へ

新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号（新潟市総合保健医療センター3F）

新潟市保健所 環境衛生課 生活環境係

電話025-212-8269（直通） FAX025-246-5673

E-mail : kankyoeisei@city.niigata.lg.jp

ホームページ：

新潟市 蚊

検索又は右の二次元コードで



蚊について 新潟市